商工業

恵まれた環境を背景に、大きな期待が膨らみます。

空の玄関「新千歳空港」と海の玄関「苫小牧港」、2つの国際港へのアクセスが車で30分以内という立地条件は、当町の誇りです。広大な土地と降雪量が少ない気象などもあり、道内外に拠点を置く企業に選ばれています。

また、当町の誇るD51 320を生かした道の駅を平成31年にオープンし、観光を中心としたヒト・モノの活性化を推進しています。

商業

商業では、プレミアム商品券の発行による町内消費拡大を図っているほか、既存店舗後継者対策として血縁に頼らない事業承継が出てきています。

「道の駅」開業以来、交流人口が増加しており、施設内販売はもとより、地域商店の意識変化や起業意欲の高まりが生じており、施設周辺でもコーヒーショップの新店舗も誕生するなど新たな効果が出てきています。

（この記事は2020年初版発行時のものです。）

安平町で挑戦！ 事業承継

平成28年に札幌市から家族で移住しまちの商店を継いだ小納谷（こなや）さん夫妻▼

工業

町内には早来臨空工業団地など4つの工業団地・適地があり、大型の優良企業が多数操業しています。それぞれの団地等の状況に応じ、環境保全施策などの措置が講じられています。また、工業団地以外の場所にも国内最大規模の太陽光発電所（メガソーラー）の設置や食肉加工場が操業しています。

起業創業支援

令和３年度開始した、育つ起業家を創る移住・起業プログラム「Fanfareあびら起業家カレッジ」をはじめ、チャレンジのフィールドとなる「チャレンジショップ」「お試しサテライトオフィス」などの整備。持続可能で活力のあるまちづくりに向け、起業や創業に向けた取組みの支援を行っています。

数字でみる施設・交通機関

令和6年1月現在

安平町民の日々の暮らしを支える生活インフラ。
みんなの暮らしにちょうどいいまちづくりを推進しています。